

2 授業展開例

県が作成した、性の多様性の尊重に係る児童生徒用リーフレット「たくさんの色 ふれ合おう。」を使用して性の多様性の尊重について指導するための授業展開例です。

小・中・高等学校の各校種それぞれリーフレットの前半2ページを中心とした授業展開例、後半2ページを中心とした授業展開例の2種類を作成しました。

授業展開例に加え、人権教育上のねらい、関連する教科等及び具体的な活用場面を記載しています。

各学校で児童生徒の実態等に合わせて工夫して活用してください。

活用にあたっての留意点

- 各授業展開例は、学級活動（小・中学校）、ロングホームルーム（高等学校）を想定して作成しました。また、人権教育上のねらい、関連する教科等、具体的な活用場面を記載しました。

どのようなねらいを設定するのか、どの教科等に関連付けて授業を実施するのか、どのような場面で指導を行うのかなど、各学校の状況、計画、児童生徒の実態等に合わせ実施してください。

- 学校における人権教育全体計画及び年間指導計画への位置付けについて、中学校の例を本資料3「参考資料等」に掲載しました。

- 授業を実施するにあたり、「児童生徒の中にはLGBTQ当事者がいるかもしれない」ということを前提に、多様性の尊重を意識した指導をお願いします。

心がけていただきたい言動などについては、本資料1「性の多様性の尊重についての基礎知識」にも掲載した教職員用リーフレットを御確認ください。

また、児童生徒の中にLGBTQ当事者がいることが分かっている授業を実施することも考えられます。この場合、当該児童生徒の意向や相談状況等（*）に配慮し授業を実施してください。

* 当該児童生徒の意向や相談状況等

- ・ 授業者、担任と当該児童生徒の相談対応等の状況

どのような相談をしているのか、どのような配慮を行っているのか等。また、性の多様性に係る授業を実施することについて当該児童生徒に伝えておくこと、場合によっては授業を受けずに他の場所で過ごすことを提案することなども考えられます。

- ・ 学級内における当該児童生徒と他の児童生徒との関係

カミングアウトをせず良好な関係を築いている場合、カミングアウトしており良好な関係を築いている場合、すでに本人がよそよそしさやわだかまりを感じている場合など、状況に応じた対応が必要です。